科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：アフリカの自然保護を考える ILAS Seminar :Introduction to Nature Conservation in Africa			担当者所属 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 山越 言		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	9 (8) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	火5	教室	稲盛財団記念館3階321号室山越研究室 (医・薬・病院構内)			使用言語	日本語
キーワード	生物多様性 / 野生動物 / アニミズム / 伝統文化 / 里山						

[授業の概要・目的]

雄大な景観や多様な野生動物に代表されるアフリカの自然について、一緒に考えてみましょう。フィールドワークを得意とする、大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻のスタッフによる、最新の研究成果などを題材に、自然保護活動の動向や、人々の暮らしとの両立について学びます。また、それらを通じて、現代アフリカの社会、文化に関する知識も深めます。

[到達目標]

アフリカ地域の気候、植生、生息する野生動物、自然を利用する人びとの様子といった基礎的な知識をゼミでの討論を通じて修得します。京都市内の動植物園で実習を行い、アフリカの動植物を体感することで、アフリカの自然を実体験します。食文化実習での調理、食事を通してアフリカの人びとの自然利用を体験することで、アフリカの自然資源利用のあり方を具体的に理解します。

[授業計画と内容]

アフリカの自然保護活動が抱える諸問題について討論し、基礎的な知識を身につけます。本講義はフィードバックを含め全15回で行います。

第1回～第2回 イントロダクション
アフリカの自然保護についての概要を説明し、授業の進め方と準備・発表の方法を周知します。また、担当教員及びティーチングアシスタントの研究紹介を行います。

第3回
アフリカ料理の主要食材やその農学的背景を知り、調理にまつわる知恵や社会関係について学ぶため、「アフリカ食文化実習」を行う。参加者間の懇親（アイスブレイキング）、また、参加するアジア・アフリカ地域研究研究科・アフリカ地域研究専攻所属の教員・大学院生との情報交換も目的とする。

第4回～第14回 アフリカ自然保護への多様なアプローチ
アフリカの自然とともに暮らす人々の生活について学ぶとともに、日本国内の類似の事例も参照しながら、地域に固有な問題として自然保護問題を理解します。また、フィールドワーク経験者から現地の様子を聞き、受講者各自が興味を持った地域や生態系、トピックについて調べていきます。その過程で、総合的な研究アプローチであるフィールドワークの考え方や面白さを学びます。映像資料の鑑賞や、動植物園等、国内の研究施設の見学（6-7月の土曜を予定）を織り交ぜ、頭と体を動かしながら、アフリカの自然・社会・文化の相互関係の理解を深め、訪れる人を虜にするアフリカの魅力に触れてみます。参加者の所属学部や知識・関心に応じて扱うテーマを柔軟に選択する予定です。そのため、各回の具体的な予定やテーマの順番についてはセミナー開始後に相談しながら

ILASセミナー ：アフリカの自然保護を考える(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：アフリカの自然保護を考える(2)

決めていきます。

第15回　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

セミナーでの質問や意見の表明など、積極性を評価します（平常点評価）。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
山越言、目黒紀夫、佐藤哲 編 『アフリカ潜在力5 自然は誰のものか： 住民参加型保全の逆説を乗り越える』（京都大学学術出版会）ISBN:9784814000098（アフリカにおける自然保護の問題と解決策について論じています。）
そのほか適宜指示します。

（関連ＵＲＬ）

http://jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/africa_division/(大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻)

[授業外学修（予習・復習）等]

演習中に指示したトピックについて、書籍等を参照して理解を深め、次回演習時にフィードバックする。

[その他（オフィスアワー等）]

アフリカに魅力を感じ、機会があれば行ってみたいと思っている人、アフリカの野生動物や生態系について知的好奇心を持っている人、アフリカが抱える現代的な困難について問題意識を持っている人の参加を歓迎します。希望者は、アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻およびアフリカ地域研究資料センターが開催する講演会、公開講座等の企画に優先して参加することができます。セミナー中の実習活動のため、学生教育研究災害傷害保険（学研災）等に加入しておいてください。見学の際の交通費（京都市内移動程度）は受講者自身の負担でお願いします。

[主要授業科目（学部・学科名）]